

3月のティータイム交流会 開催報告！！ (15日：環境、20日：技能ボランティア)

『芦屋の自然に関心のある人集合！』

芦屋の山・川・海の自然環境に関心のある個人や、既に活動をしている市民団体のメンバーの方など18人が一堂に会し、親睦を深めつつも、これからの芦屋での自然活動の在り方や、環境教育に関して話し合いました。



簡単な活動紹介や自然との関わりや芦屋の自然のこれからの期待など自己紹介を兼ねた意見交換が行われ、その後、活動の広がりや、自然に対する個人の考えなど、熱い議論が繰り広げられました。センターでは、今後も環境に関する交流会を開催する予定です。ご関心のある方は、センターまでお問い合わせください。

『特技ボランティアマッチング！』

昨年も開催した、登録ボランティアの方の中でも、何らかの『技』をお持ちの“特技ボランティア”の方々にお集まりいただき、プレゼンテーション(発表)をしてもらいました。その『技』を市内の高齢者施設や保育施設などで奮ってもらうため、各施設のボランティア担当の方にお越しいただき、情報交換をしていただきました。



(左上から時計回りに、尺八、バルーンアート、マジック、コーラス、昔遊び、健康体操、プチミュージカル、描画心理学のプレゼンテーション)

“わたしの特技で、誰かに楽しんでもらいたい！！”という方は、是非、あしや市民活動センターのボランティア登録にご登録ください。あなたが“輝ける”場所を一緒にお探しいたします。

□利用の案内

- ・利用時間：午前10時～午後5時(月曜～土曜日)
- ・休館日：日曜日・祝日(国民の休日)・年末年始

□アクセス

- ・精道小学校北側 旧消防署の北の道を東に100メートル
- ・「阪神芦屋駅」・阪急バス「阪神芦屋停留所」から東に徒歩2分

□連絡先：

〒659-0064 芦屋市精道町5番11号
TEL: 0797-26-6452 FAX: 0797-26-6453
Eメール aia@ashianpo.jp



「あしや市民活動センター」情報紙

かわらばん

第9号
10/3/29
発行

発行：あしや市民活動センター(芦屋市市民生活部市民参画課)〒659-0064 芦屋市精道町5番11号
TEL:0797-26-6452 FAX: 0797-26-6453 HP <http://www.ashianpo.jp> E-Mail: aia@ashianpo.jp

第9号 ヘッドライン

- | | |
|--|---|
| □2010年4月からのあしや市民活動センター
・利用方法の変更と予定しているイベント
・電話番号の変更のお知らせ | □私のボランティアことはじめ 第3弾
『芦屋森の会 2001』代表 村上敏彦 |
| □登録ボランティアの活躍①
・ティータイム交流会から生まれた一枚の絵 | □3月のティータイム交流会 報告
○3/15 芦屋の自然交流会
○3/20 特技ボランティアマッチング |

2010年4月からのあしや市民活動センター～利用方法の変更と予定しているイベント～

■皆様からセンター施設利用のご提案お待ちしております。

あしや市民活動センターは、この4月から有料の貸会議室3室を設置します。多目的室A,Bは12人程度のご利用向け、多目的室C(旧相談室)は7人程度のご利用向けとなっております。多目的室A,Bに関しては、仕切りを外すこと*により、25人程度の利用が可能になります。貸出し可能な時間帯区分は、①10時から12時、②13時から15時、③15時から17時の三区区分となり、各時間帯毎に、多目的室A,Bは各々400円(*仕切りを外したご利用の場合は2室分)、多目的室Cは200円となっております。なお、会議室並びに、施設の利用はセミナーや会合などの利用を想定しております。

今後、活発な市民活動を支援いくため、4月からの6ヶ月間は、この施設をどのように利用できるか、様々な利用提案を受け付けます。(6ヶ月後、再度利用方法を検討いたします。)
その他、大きな変更点として、連絡先電話番号、並びにFAX番号が変わります。

新電話番号：0797-26-6452

新FAX番号：0797-26-6453

☆来年度予定しているイベントスケジュール

従来より実施しております、ティータイム交流会やセミナー事業は今後も継続していきます。
(*括弧内は、イベントが予定されている月です)

現在予定されているティータイム交流会

- ・リタイアメント講座…5～60才以上の方向け(6月)
- ・生きがい仕事探し…“生きがい”仕事のご紹介(7月)
- ・県内小規模集落と市民の交流…農体験情報等(9月)
- ・特技ボランティア集合'10…福祉施設等の方必見(11or3月)

現在予定されているセミナー

- ・助成金獲得セミナー…市民活動団体向け(12月)
- ・ポスター・チラシ作成講座…市民活動団体向け(10月)
- ・**新** マネー講座…子育て世代向け(8月)
- ・“ ” …プレ・リタイア世代向け(11月)
- ・メンタルヘルス講座…市民向け(11or2月)

登録ボランティアの活躍①

～10月開催 ティータイム交流会『里山の話を書きたい人集合!!』から生まれた、一枚の絵～

登録ボランティアの泉川さんのご活躍

《インタビュー：画家の泉川博之さん》

— 絵画を始めたきっかけは？

泉川 — 子どもの頃、父親の知人で絵を描く人がいて、家に遊びに来た時絵を教えてもらったりしていましたが、学生時代は特に絵を描くこともなく、むしろスポーツに没頭していました。理系の大学を卒業後、電機関係の会社で仕事をしていたのですが、30歳を過ぎて、突然絵を描きたいと強く思い、仕事の合間、出張先にも画材を持って行き時間を見つけては描くようになりました。リタイア後、通信制芸術大学に入学、絵画を学びなおし、特定の題材にはとらわれず、様々な絵を描く一方、教えることも始めました。



朝来市与布土地区のかかし祭。
泉川さんの作品のモチーフにも。

— 「里山の・・・！」に参加されたのはなぜですか？

泉川 — 美術大学の通信教育と言っても直接講義を受けに行くことも多く、その授業の中で「里山」という言葉をたびたび耳にはしていました。

今回芦屋市以外の地域の人と交流が図れるということに興味をもったので参加しました。

— 交流会で紹介をされた里山の一つ、朝来市与布土地域を訪問され、「かかし祭り」の情景を描いて賞を獲得されましたね？

泉川 — 交流会に参加された担当者に直接連絡をとったところ、訪問した当日は一日中時間を割いて、スケッチ以外にも近辺の名所・旧跡を案内もしていただいたり、心のかもった対応に感動しました。その時のスケッチをもとに描いた絵が、なにわ美術展で奨励賞に、また ZERO 展で会員賞に選ばれました。



受賞作品と泉川さん

— 交流会に参加されて、感想は？

泉川 — 里山を、それまでは自身が描く題材の中の一つとしてしか意識していなかったのですが、今回の交流会をきっかけに「里山」を意識するようになりました。また現地に行って、人々と直接触れ合うことでその土地をより身近に感じることができました。異なった地域の間人として、新しい観点から町おこしのアイデアも提案できたと思います。これからも交流が広がって、お互い住んでいる地域が活性化されたいですね。

～取材を終えて～

あしや市民活動センターが主催した「ティータイム交流会」を通して、里山と芦屋市民が交流することで新たな風が吹き、お互いの活性化に繋がっていくようすを見聞きすることは、私たちセンターのスタッフにとっても仕事の励みになります。これからも皆様のご意見を参考に楽しい企画をして行こうと思います。(山田)

□私のボランティア ことはじめ 第3弾

～芦屋の奥山の森林整備に取り組む活動をしています～
インタビュー：芦屋森の会2001代表 村上 敏彦さん

— 活動が始まったきっかけは？ —

村上一「芦屋自然文化都市建設 50 周年記念」事業として2001年に、市民ボランティアを募集して石仏谷の砂防ダムに「コバノミツバツツジ」の苗木を植樹しました。植えたままにしておく、害虫やイノシシの被害などで根付かず枯れてしまうので、掘り返されるなどして弱った苗木の世話をする活動から始まりました。その時ボランティアとして集まった人のうち38名ほどが、現在も活動を続けています。



整地後、山取りした苗を移植します。

— 現在の活動は？ —

村上一手入れされていない森林は高木が鬱蒼として中低木が育ちません。冬のこの時期は背の高い枝を伐採し光が入るようにしたり、赤松、コバノミツバツツジやその他、同じ土地に育っている苗木を植樹する「山取り」という方法で植樹し、本来あるべき植生に戻す作業などを行っています。春から夏にかけては樹木の根周りの雑草を刈るなどします。また同時に野外活動センターの跡地の整備も始めました。

— 現在抱えている問題点 —

村上一毎月第1, 3日曜日に活動していますが、メンバー其々の都合があり、活動に十分な人数がなかなか揃いません。もっとメンバーが増えてほしいと思います。又、地盤整備のため、丸太で土留めをしたりしますが、作業に必要な丸太や杭、道具の購入費が必要です。社会福祉協議会やコープこうべの助成金を申請しますが、充分とはいえません。費用の調達が今後の課題です。

— 将来の夢 —

村上一現在、子どもの参加は、自然観察会や環境学習など、単発的な体験活動が主ですが、日ごろから森を育てる活動に参加して、自然の持つ不思議や多様性を実感してもらえれば、という思いがあります。

また、15年～20年かかるとは思いますが、芦屋の奥山を多様性のある森林にしたいと思っています。野外活動センターも徐々に整備して、芦屋の奥山全体を家族連れ、若者から高齢者まで様々な年代の人が憩う森林セラピーの森に出来たら素晴らしいと思っています。

～取材を終えて～

植樹には「山取り」という方法で、芦屋の山で育った苗木を移植します。市外の土地や花木店で購入した苗木はイノシシや害虫の被害に遭い易く育てる手間がかかりますが、「山取り」した苗木は被害に遭うことなく育つそうです。イノシシや虫にも日頃から生活を共にしている樹木に対しては仲間意識があるのでしょうか！？また、春夏に行う下草刈りは、根を掘り起こして雑草を取り除くと樹木の根も一緒に傷つけてしまうので、手間はかかりますが、鎌で刈る作業を繰り返す行います。

多様性のある森林を育てるには長い年月が必要です。取材をして改めて村上さんをはじめ「芦屋森の会2001」の皆さんの重労働も厭わない樹木への愛情を感じました。

活動日は毎月第1・3日曜日、10:00。阪急バス停「芦屋ゲート前」に集合しています。芦屋の奥山を再生することで、芦屋市全体の自然が豊かになります。山歩きや緑化活動に興味のある方、活動に参加してみませんか？(山田)

3月15日に

『自然環境』に関する

交流会が開催されました。

(活動内容を紹介される村上さん)

詳細は裏面を。

